

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
1	とんだばやし未来 代表質問 12番 辰巳 真司 (質問方式) 一問一答	1. 市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【認定こども園化計画】(素案)について	(1) パブリックコメントや説明会での意見について (2) 庁内PTの設置状況や推進体制、今後の見通しについて (3) こどもたちのために何ができるのかを考える ①通園バスの弾力的運用など、こどもたちに寄り添う施策展開を (4) 市立幼稚園の跡地の活用方針について
		2. 学校備品の維持管理に関する責任の所在と適正なPTA会費の使用について	(1) 学校に設置されているカーテンのクリーニングにかかる費用の賄い方について (2) 学校備品の維持管理とPTA会費との関係性についての見解と、是正が必要かどうかの認識について (3) カーテンクリーニング以外の学校備品の維持管理に関してPTA会費で賄われているケースの有無について (4) 学校施設・備品の維持管理に関する責任の所在について市教育委員会の見解を求めるとともに、それに関するPTA会費の使用についてのルール作りについて
		3. 公園行政について	(1) 遊具やトイレ等の維持管理、草や木の手入れ、市民からの苦情や要望について (2) だれもが安心して利用できる公園づくりについて (3) 市民の多様なニーズを反映した公園づくりについて (4) 新たな公園づくりの提案について
		4. こどもの権利条例の制定に向けた進捗状況等を聞く	(1) こどもアンケート調査等の結果について (2) 権利主体である、こどもたちの声をどう反映するか (3) 今後に向けた議論・取組や意見の反映について
2	自民・笑顔の会 代表質問 17番 今城 克久 (質問方式) 一問一答	1. 本市の産後ケア事業における助産院活用と広域連携の推進について	(1) 本市の産後ケア取組状況と今後の方向性について ①本市における産後ケア事業の利用件数、対象者数、利用率について ②市民に対する産後ケアの周知方法や支援体制の現状について ③NPO等が実施している訪問ケアやおむつ宅配サービスなど、子育て支援との連携について (2) 助産院での産後ケアの実施体制について ①本市の産後ケア事業は富田林病院、PL病院、大阪南医療センターなど大規模病院が中心であるが、今後、助産院や地域の小規模クリニックの拡充についてどのように検討しているのかについて ②二人目・三人目出産後の母親が、兄弟姉妹を伴って助産院等で産後ケアを受けられる体制について (3) 広域連携による産後ケアの推進について ①助産院での産後ケアに関し、近隣市町村との連携状況について ②里帰り出産や隣接市での利用も可能となるような「広域連携」の仕組みづくりについて、今後の検討状況について

令和7年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. 朝食習慣を獲得するための子ども朝食堂について	(1) 本市の子ども食堂の現状（場所と実施日時等）について (2) 新規の子ども食堂の開設までの流れについて (3) 子ども食堂事業の予算の内容について (4) 全16小学校区で子ども食堂を広げる目標を掲げていますが、実際に子ども食堂がない小学校区について (5) 小学校での子ども朝食堂の導入に向けて、各小学校に設置されている『みなよる』を活用し、調理をしないパンやおにぎりを主としたメニューを提供すれば、実現できると考えます。泉佐野市では各小学校で20名程度の利用があるとのことですが、本市でも子ども食堂の普及や小学生の朝食習慣の獲得に向けて、導入を前向きに検討した場合、導入に支障をきたす要素があれば具体的に何があるのかについて (6) 泉佐野市同様に実証実験から始めていき、効果検証を行うことから始めていくことを提案するが、今後の導入に向けての市の見解について
		3. 中学校の修学旅行について	(1) 中学校の修学旅行の目的について (2) 8校の直近3年の修学旅行先と宿泊先について (3) 宿泊先に民泊とあるが、民泊を実施する目的について (4) 修学旅行先や宿泊先の選定方法について、誰が、どのようにして決めているのかについて (5) 近年の物価高騰やインバウンドの増加などで旅費や宿泊費も高騰していると思われるが、家庭の費用負担の推移について (6) 平和教育などが修学旅行の目的になっていますが、修学旅行から帰ってきてどのような学習がなされているのか、目的達成の検証はどのようにされているのかについて (7) 生徒や保護者の意見や要望は、どのように反映されているのかについて (8) 保護者から民泊時の災害発生に対する危機管理に対して不安視される声を聞きますが、民泊時の危機管理マニュアル等の作成がなされているのかについて (9) 近年SNS経由での若者の犯罪被害も多く報告されていますが、修学旅行時のスマホ利用について
		4. 健康寿命の延伸に向けた健康チェックの充実に向けて	(1) 本市の特定健診やがん検診等の受診率の状況について ①特定健診やがん検診の受診率について ②大阪市内や堺市の検診実施機関でのがんパック検診が受けられるようになってからの受診者数の推移について ③本市のイベントで健康ブースでの啓発や健康チェックの取組について（専門家による講演、検査機器を使った健康チェックなど） (2) 本市の骨密度検診の受診率向上に向けた取組について ①骨密度検診の推進に向けた取組の現状について ②骨密度検診の受診率について ③50歳以上の方は、骨折予防が介護予防になり認知症予防につながると考える。骨密度検診の受診率を向上させるために、啓発活動の推進を要望するが、市の見解について

令和7年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		5. 地域の憩いの場である浴場の管理運営について	(1) かがりの郷の浴場が臨時休業したことについて ①令和7年6月17日から7月4日までのかがりの郷の浴場が臨時休業したことについて、臨時休業から営業再開に至った一連の経過について ②今回の基準値を上回るレジオネラ属菌が検出されたことを踏まえて、今後の再発防止策について (2) 本市の浴場施設に関する管理運営について ①市の浴場施設（かがりの郷、市民会館、総合福祉会館）での、日々の点検や設備の整備等については、指定管理者により実施されるものと認識しているが、かがりの郷ではどのように行われていたのか。また、再委託されている業務を含め、その業務が十分に遂行されているのかの確認を、市はどのように行っているのかについて
		6. カーボンニュートラル実現に向けて～2030年の政府実行計画の実現に関して～	(1) 政府実行計画に関して ①本市のカーボンニュートラル実現に向けた取組の現状について ②公共施設における太陽光発電の設置率50%以上の進捗状況と今後の目標について ③公共施設におけるLED照明の導入率100%の進捗状況と今後の目標について (2) 小中学校体育館のエアコン設備について ①小学校体育館のエアコン設備における設計業務の進捗状況や今後の方向性について ②中学校体育館のエアコン設備における設計業務の進捗状況や今後の方向性について
		7. 市内観光の充実に 向けて～超小型モビリティの導入を～	(1) 市内観光の現状について ①近鉄富田林駅周辺、東条地区、滝谷不動周辺の観光客数について ②市内観光の推進に関する現在の取組について ③DMOを司令塔とした観光政策が進んでいない現状の課題について (2) 超小型モビリティの導入に向けて ①すばるホール、きらめきファクトリー、市役所などにEVステーションを設置し、周遊観光のため、超小型モビリティのレンタル事業の実証実験から始めていくことを提案するが、今後の導入に向けての市の見解について

令和7年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
3	大阪維新の会 代表質問 4番 寺内 裕介 (質問方式) 一問一答	1. 地元選出鈴木憲大阪府議会議員との連携について。	(1) 2025年6月議会における吉村市長の発言について。 ①吉村市長は2025年6月定例会の最終日において、「先ほど、参考人である鈴木府議から、昨年の会合等において参加を要請したとの発言がございましたが、これにつきましては、確かに鈴木府議とお話をする機会がありましたが」と発言された。一方で、鈴木府議は参考人招致において、吉村市長が6月12日の本会議において、「そのような事実は、一切ございません。」と発言された部分を強調されており、また、「今回、市長は、私が参画の要請を行なったという事実。簡単に申し上げると、まるで私と会ったことも無いと言わんばかりに否定されています。」と発言されている。吉村市長の発言からも、鈴木府議と昨年の会合等で会っているのは事実であると思うが、会ったことは事実として認められるということで間違いはないか、市長の見解を聞く。 ②昨年の会合等で吉村市長と鈴木府議が会っているのが事実であるならば、そのときの公式・非公式の場での吉村市長と鈴木府議とのコミュニケーションにおいて、双方の認識と見解に相違が生じてしまったことが今回の発端である。鈴木府議は6月定例会の参考人招致において、「吉村市長に参画していただきたいとお願いすることは極めて自然であり、要請しないことの方がむしろおかしいと思いませんか。」「昨年の8月以降(省略)市長とお会いした折に、都度、協議会への参画を要請したと認識している。」「その時々を受け止めでは、吉村市長も参画に賛同していただいたものと理解していました。」と発言されている。また、鈴木府議は、「そういうつもりではなかったとおっしゃるのであれば、それはそれとして、私は受け止めなければならないと考えています。」とも発言されているため、認識と見解の相違の発生については致し方ない部分もあると理解を示されている。しかし、双方の認識と見解に相違が生じたのは事実である。ところが、6月定例会の吉村市長の発言には、肝心のコミュニケーション齟齬が発生した昨年の会合等の部分についての具体的な話がなかった。吉村市長には、昨年8月以降の複数の公式・非公式の場における鈴木府議とのコミュニケーションについて記憶を想起され、できるだけ具体的に当時の内容と発言を示されたい。 ③吉村市長の6月12日の本会議での発言、「そのような事実は、一切ございません。」は全面的に否定する強い断定表現であった。記憶を想起された結果、必要があれば、吉村市長の6月12日の本会議発言の釈明や訂正、謝罪をされたい。 (2) 地元選出鈴木憲大阪府議会議員との信頼関係を再構築することについて。 ※本市の発展には、市長と地元選出大阪府議会議員の緊密な連携は必要不可欠であり、そのためには双方の信頼関係が構築されている必要があると考える。しかし、鈴木府議は6月定例会の参考人招致において、「市長と私の人間関係が破綻していた事実は残念でならない。」と発言されている。早急に双方の信頼関係を再構築すべきだと考えるが、市長の見解を聞く。

令和7年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			(3) 大阪府政に係る市町村の諸課題についての意見交換会について。 ①いわゆる市町村要望において、大阪維新の会との意見交換会が成立しなかったことについて、経緯と市長の見解を聞く。 ②大阪維新の会、自民党、公明党それぞれの会派に対し、どのような市町村要望をする予定であったのか聞く。
		2. 富田林市第5期行財政改革プラン(素案)と認定こども園化計画(素案)について。	※本市は本年7月31日、富田林市第5期行財政改革プラン(令和7年度～11年度)令和7年7月(素案)のパブリックコメントの募集を終えた。同プランの43ページ、認可保育施設設置運営事業者の誘致において、令和7年3月時点での現状・課題として、「富田林市保育所民営化基本方針に沿って、(省略)現在の市立保育所6園を4園に再配置(民営化)するため、さらなる保育の受け皿を確保する必要があります。」と記載されている。市は今後5年間の行財政改革プランにおいても、いずれは市立保育所6園を4園に再配置(民営化)することに繋げるための取り組みを打ち出しているにも関わらず、本市は市立保育所6園すべての認定こども園化に向けた取り組みを進めている。本市の認定こども園化の取り組みは現時点でもうすでに、これから始まるうとしている富田林市第5期行財政改革プランにおいても逆行していると言えるのではないと思うが、本市は行財政改革の重要性についてどのように考えているのか、同プランとの整合性も含めて見解を聞く。
		3. 国の動向に応じた中学校給食無償化の拡大について。	※本年2月25日、自民・公明・維新の3党は国会において、給食の無償化について、2026年度にまずは小学校から開始し、中学校でもできる限り速やかに始めることで合意した。例えば、仮に小学校給食が無償化となり、さらに来年度も国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のように学校給食に充当することができる交付金があった場合、本市は現在の中学校給食1人あたり年間20食分の無償化を拡大すべきではないかと考えるが、本市の見解を聞く。
		4. 金剛ふるさとバスについて。	(1) 金剛ふるさとバスの赤字の軽減について。 (2) 運賃の見直しについて。 ※金剛ふるさとバスは、民間事業者と比較すると運賃が安価である。運行地域の事情等も勘案しつつ、持続可能な地域公共交通にするためにも、より適正な運賃へと見直すべきだと考えるが、本市の見解を聞く。 (3) 新たな利用者の開拓について。 ①令和7年11月より休日の利用者増を目的として、通勤・通学利用者以外をターゲットにしたフリー乗車券を試行的に発売することになった。発売に向けて、沿線の魅力や観光スポット内容、観光所要時間、バス停から徒歩での移動時間等の情報提供ツールを整備することにより、より一層、乗降車を楽しんでいただけるようにしてはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。また、4市町村で共同して広報紙に掲載したり、車内広告の掲示、外国語を含むホームページやSNSでの情報配信、大阪府南河内6市観光ポータルでの情報配信をおこなうなど、4市町村内だけではなく、南河内地域の方や外国人観光客等にも伝わるような情報発信に取り組んではどうかと考えるが、本市の見解を聞く。加えて、4市町村内の地域経済活性化につなげるため、当日のフリー乗車券を提示すれば割引を受けられるような協力店舗を開拓してはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。

令和7年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			②平日昼間の時間帯の利用者を開拓するため、平日昼間割を実施してはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。 ③高齢者の方は通勤・通学利用者とは違う時間帯で利用されることも考えられる。高齢者の外出支援策として、シニア割やシニア版の定期券として(仮称)アクティブシニアパスを発行してはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。 (4) 4市町村での費用負担割合の見直しについて。 (5) 4市町村で運営する地域公共交通活性化協議会のあり方と今後について。
		5. ふるさと納税を活用した寄附促進と地域活性化について。	(1) PayPay商品券の活用強化について。 ①PayPay商品券の特設ページに取扱店舗情報や地域の特産品紹介を加え、観光・商業PRのツールとして活用してはどうか。 ②取扱店舗拡大の取り組みについて。 ※商工会や観光協会等と連携して取扱店舗の開拓・拡大を行ってはどうか。 (2) 情報発信とSEO対策(検索エンジン最適化)の強化について。 ※SEO対策(検索エンジン最適化)の予算を拡充し、検索順位やアクセス数を向上させることで、全国の寄附者に情報をより広く届けられるよう工夫してはどうか。 (3) 体験型・現地決済型返礼品の導入について。 ※再開園したサバーファームの収穫体験をはじめ、防災体験・歴史文化体験など、多様な体験型返礼品を開拓してはどうか。 ※観光や出張等で本市を訪れた際に、その場で寄附を行い、即時発行される電子クーポンを使って市内店舗を利用できる現地決済型ふるさと納税を導入してはどうか。 (4) とんだばやしふるさと寄附金(一般寄附・企業版を除く)受入額の目標設定について。 ※とんだばやしふるさと寄附金(一般寄附・企業版を除く)の受入額が、本市の寄附金控除額を上回ることを、明確な目標として掲げてはどうか。
		6. 職員の働きがい向上と人財流出防止に向けた人事戦略の転換について。	(1) 職員の自己都合退職の傾向と主な原因について。(直近3年程度) (2) エンゲージメント調査と四半期パルスサーベイを実施し、指標とともに全庁で共有・公表してはどうか。 (3) 管理職志望者の減少対策として、1on1面談やマネジメント基礎研修の実施、ロールモデルの提示など、具体的な取り組みを計画的に実施してはどうか。 (4) 長時間労働の是正に向けての、フレックスタイム制の導入、テレワークの原則適用や、有給休暇取得の促進、男性の育児休暇取得の促進等について、それぞれKPIを設定して取り組んではどうか。 (5) タレントマネジメント(人材情報を一元的にデータベース化して管理する仕組み)を導入することで、人材配置の最適化、育成・キャリア形成の見える化、評価と処遇の連動強化、組織全体での戦略的人材活用に取り組んではどうか。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		7. 職員の営利企業を含む副業・兼業の許可基準の整備と推進について。	(1) 本市では現状、副業・兼業の許可対象を「非営利活動」に限定しているのは何故か。 (2) 総務省の通知（令和7年6月11日）において、営利企業での兼業も基本原則を満たせば認められるとされたが、本市はどのように受け止めているのか。 ※本市は現行の「非営利限定」の運用を見直す考えがあるか。また、見直す場合はそのスケジュール感についても示されたい。 (3) 他の自治体では、営利企業との兼業を許可し、時間上限や報酬額上限を設けるなどして公務の能率や公正性を確保している事例がある。本市も同様の基準設定を検討してはどうか。 (4) 職員のキャリア形成、人材育成、地域経済との協働の観点から、営利企業での兼業推進による効果について、本市はどのように考えているのか。 (5) 営利企業を含む副業・兼業について、独自の基準を策定し、透明性をもって公表、推進してはどうか。
4	公明党 代表質問 5番 遠藤 智子 (質問方式) 一問一答	1. 市民の安心、安全の取り組みについて	(1) 特殊詐欺の被害防止のために ①国際電話からの特殊詐欺の被害を防ぐため、市庁舎や駅前、商業施設など集客力の高い施設で着信拒否の方法がわかるチラシの配布や固定電話の国際電話利用休止申込書作成支援などの積極的な啓発を実施してはどうか (2) 南海トラフ地震等の大規模地震に備えた本市の防災対策について ①地震発生時の通電火災防止のため、「感震ブレーカー」設置の市民への普及啓発と補助制度の創設を求めて ②エレベーターの閉じ込め対策として、市庁舎や公共施設のエレベーターへ防災キャビネットを設置してはどうか（各施設における現在の設置状況及び閉じ込め対策についても言及する） ③令和7年8月に改訂された南海トラフ地震臨時情報防災対応ガイドラインについて聞く (ア) ガイドラインを踏まえた本市の取組について (イ) 臨時情報が発表された場合の市民への周知について
		2. 市民の更なる健康推進と病後ケアについて	(1) 若年がん患者の在宅療養支援について ①若年がん患者が、自宅で療養する際に抱える問題点について ②本市独自の在宅療養支援助成制度を設けることについて (2) 带状疱疹ワクチンの定期接種及び公費助成について ①本市における現状の接種率、想定される本年度接種率について ②本市の市民への带状疱疹の注意喚起と重症化予防に関する周知について ③接種後の副反応や健康被害等があった場合の補償について（定期接種と任意接種での違いを問う） ④松原市のように50歳55歳60歳の人を公費助成の対象とすることを求めて（本市の負担がどうなるのか見解も問う）

令和7年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			(3) アピアランスケアのための、医療用ウィッグの購入費用助成について ①本市の医療用ウィッグの購入費用助成制度とその実績について ②円形脱毛症患者に対するアピアランスケアの適用について ③千葉県流山市で実施されている医療用ウィッグ助成事業「流山モデル」の本市での導入について (4) 子宮頸がん予防をすすめるために、本市の子宮がん検診に HPV 検査の導入を求めて ①本市の子宮頸がん検診の内容と受診率の推移について ②HPV 検査導入のメリットとデメリットを問う ③2024 年厚生労働省の調査では、横浜市をはじめ 4 自治体が HPV 検査をすでに実施し、337 自治体が導入予定と回答している。改めて本市においても HPV 検査の導入を求めるが、市の見解を問う (5) プレコンセプションケア推進と女性の健康支援に関する取り組みについて ①若年層や子育て世代に対する「やせ志向」是正と健康教育の推進について ②母子保健事業にプレコンセプションケアの視点を取り入れる取り組みについて (愛知県みよし市での取り組みについても問う) ③危険な減量法や「やせ薬」への注意喚起、相談体制・啓発活動の充実と骨密度検診について
		3. 高齢者見守り型緊急通報システムについて	(1) 緊急通報システムの登録者数（固定型と携帯型別）と緊急通報システムを使った通報数を聞く (2) センサー等による屋内見守り型緊急通報システムの導入を求めて（大阪狭山市など他市の事例や民間のシステムをふまえて）
		4. 本市立小中学校における英語教育の推進について	(1) 本市の英語教育について、現在、どのようなことに取り組んでいるのか (2) 今後の本市の英語教育の方向性についてどのように考えているのか (3) オンライン英会話を活用して個別に英会話力を育むサービスについて
		5. 足靴育（あしくついく）を学校教育に位置付けるために	(1) 身体測定時の足計測導入を求めて ①現在の本市の小・中学校で実施している身体測定の項目と方法について問う ②大阪市立大江小学校で行っている足靴育の取り組みについて

令和7年第3回（9月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		6. 農業公園サバーファーム開園後の状況と取り組みについて	(1) 開園後の入園者数の状況について聞く (2) 園内の熱中症対策及び、集客への取り組みについて聞く ①今後の猛暑に伴う子ども向け水遊び設備等の導入について ②園内約19ヘクタールの敷地に対しての日陰スポットの増設について ③レストランにおける飲食メニューの提供について ④駐車場、及び周辺の再整備について
5	14番 坂口 真紀 (質問方式) 一問一答	1. 本市における公共工事入札について	(1) 予定価格と最低制限価格の公表のあり方について ①事前公表の経緯と理由について ②本市が現行の事前公表を続けることの妥当性について ③予定価格、最低制限価格の事後公表への移行について (2) 課題の二極化と今後の方向性 ①工種区分の見直しと資格基準の厳格化 ②入札要件の見直しと地域外業者の参入 (3) 発注者フィードバック制度の導入について
		2. 認定こども園化計画について	(1) 認定こども園の運営等の制度設計の進捗と公表スケジュールについて (2) ハード整備における運営方針との連動と整備計画のプロセスについて (3) 保育園のこども園化の判断理由と工事期間中の安全対策について
6	15番 京谷 精久 (質問方式) 一問一答	1. 介護予防・健康ポイント事業「あるこっと」について	(1) 5年間のこれまでの取り組みと事業評価と検証について (2) 事業の評価・検証を通じて、今後の方向性や展開について ①「あるこっと」独自イベントの開催や市内観光資源との連携を ②今後の事業展開について（新規や継続募集時に来年度事業の方向性を示さなかった理由は）
		2. 外国人市民への支援と多文化共生の推進について	(1) 現在の本市の外国人市民への支援体制とその考え方について (2) 本市在住の外国人市民の現状把握について ①国勢調査や市独自のアンケート調査等を通じてニーズ・課題を把握すべき (3) 多文化共生の推進における今後の取り組みについて聞く
		3. 本市のごみ収集の現状と課題について	(1) ごみの排出方法について、ステーションへ排出している地域と戸別に排出している地域の現状とその経過について (2) 他市の事例も含め、高齢化社会を見据えた今後のごみ収集方式について、市の見解を聞く（戸別収集へのルール作りも含め言及） (3) 現在ステーション方式に協力頂いている町会・自治会に対して、積極的な支援が必要と考えるが見解を（アンケート調査や現状を踏まえ新たな補助制度を）

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
7	3 番 岩 崎 哲也 (質問方式) 一問一答	1. 障がい者千人雇用の実現に向けて。 (総社市の取り組みについて言及する。)	(1) 障がい者千人雇用の情報発信と一般就労の推進について。 ①本市の現時点での一般就労者と福祉的就労者の人数について聞く。また、年代別・就労形態別に公開すべきと考えるが、本市の見解を聞く。 ②今後、一般就労者の雇用数を増やすために、どのような施策を考えているのか、企業側へのアプローチや支援策について、市の見解を聞く。 (2) 農福連携の推進と規格外農産物の活用について。 ①規格外野菜を活用した農福連携に取り組むことについて、市の見解を聞く。 ②サバーファームと今後どのように障がい者雇用について連携されるのか、市の見解を聞く。 ③加工施設を有するサバーファームと、就労継続支援 A 型・B 型事業所が連携し、規格外品を使用した加工品の開発に取り組むことについて、市の見解を聞く。
		2. 猛暑被害対策と再生可能エネルギー活用による農業の持続可能性向上について。	(1) 本市の基幹産業である農業の発展を見据え、今後の猛暑対策として、ビニールハウス等への営農型太陽光発電の活用について、市の見解を聞く。 ※令和7年3月議会で言及した、ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型太陽光発電についての進捗状況を聞く。 また、岡山県真庭市で大阪大学と共同で取り組んでいる「OSC 実証」有機素材を用いた太陽電池シートについて言及する。
8	9 番 山 本 剛史 (質問方式) 一問一答	1. 本市の経済状況について	(1) 現在の経済状況をどの様に分析・評価をしているか見解をお聞きます。 (本市が過去5年程度において実施してきた経済対策について) (2) 今後の地域経済をどの様に活性化を図っていくか見解をお聞きます。 (3) 地域経済の要である大手銀行（三井住友銀行）が、本市の玄関口である富田林駅から移転することについて ①移転することをどの様に考えているか見解をお聞きます。 ②移転するにあたり、先方と交渉を行ったか、また、交渉を行った場合引き留めや、引き留めるための市からの提案を行ったか見解をお聞きます。
		2. 市立幼稚園保育園の今後のあり方について	(1) 市立幼稚園については、10 人ルールを最後までクリアした園については、10 人を下回っても、一園は残すことを求めますが、見解をお聞きます。 また、市立保育園については、全ての園をこども園化の方針が示されているが、保育園についても一園を残すことを求めますが、見解をお聞きます。
9	1 3 番 寺 尾 千秋 (質問方式) 一問一答	1. 市民がスポーツを親しみ楽しめる環境整備について	(1) 今年3月議会で市長が「施政方針」でも述べられた「スポーツ推進計画」の策定について進捗状況を聞く。 (2) 市民総合体育館のエアコン設置の進捗状況も聞く。 (3) バスケットコートとスケボーパークの設置要望を市民から聞いているが、市のスポーツ施設の稼働率を踏まえ、施設の設置に向けた市の見解を聞く。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. 市民とともに被災地支援から学び、備えることについて	（１）市民の防災意識や災害が起きたときの備えを強化するために、災害ボランティアの周知や募集について ①災害ボランティアを集めて、ボランティアバスを運行し被災地へ支援を行った経過があるのか聞く。併せて、市外で災害が起きた際に、被災地の要請に応じ、迅速に被災地支援が行えるよう、あらかじめ災害ボランティアを登録しておくことについて、市の見解を聞く。 （２）本市の災害ボランティアの支援受け入れ体制について聞く ①受付、ニーズの把握、災害ボランティア保険の加入等、災害ボランティアを受け入れるための体制や予算について聞く。 （３）能登半島地震への被災地支援を行った職員の経験や意見から、本市の地域防災計画等にどのように反映し、強化・改善していくのか聞く。
		3. 本市の公共交通について	（１）金剛ふるさとバスの運行開始後、公共交通に関して、市民からどのような声が寄せられているのか、また本市の公共交通についての課題を聞く。 （２）高齢者や免許返納を考える市民からバス・タクシーの運賃割引補助事業を求める声を多くお聞きしています。バス事業者やタクシー会社、または介護タクシー事業者と懇談を持つなど、実現の可能性について市の見解を聞く。（河内長野市の取り組みについて言及する）
		4. 認定こども園計画について	（１）公立幼稚園・公立保育所の職員について ①現在の公立幼稚園と公立保育所の正規職員とそれ以外の職員で保育教諭の割合をそれぞれについて聞く。 ②この計画によって、給与体系や労働時間が大きく変わる為、労使合意が必要と考えますが、市の見解を聞く。 （２）市立保育園6園をすべて認定こども園化することについて ①保護者と市民への説明会やワーキングチーム等で出された意見を踏まえ、現時点での課題や問題点をお聞かせください。また、幼児教育保育を構築するうえで、しっかりとした実践や検討をしていくためには一定の期間が必要だと考えますが、市の見解を聞く。 ②公立保育園は児童福祉法第24条一項「保育を必要とする場合において、当該児童を保育所において保育しなければならない」という公的な保育の責任が市にあることが明記されています。6園で3歳児クラスから5歳児クラス各10人ずつ計180人もの保育の定員を縮小することは、公的保育の縮小につながり、「こどもまんなか社会」とはかけ離れた計画で、許されないと考えますが、市の見解を聞く。 （３）これまでの経過から、何を教訓にし、改善して進めていくのか ①以前の取り組みで、市民の理解が得られませんでした。今回の進め方について、短期間で市の計画を市民に周知し理解を得られるとは思えません。市の見解を聞く。 ②個別再配置計画と、認定こども園計画とで市民の要望はどのような変化があると受け止めているのかお聞かせください。また、その意見を市の計画に反映する考えはあるのか聞く。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
10	2 番 酒本 千紘 (質問方式) 一問一答	1. 小学校学童クラブについて。	(1) 保護者の負担軽減について。 ①夏休みなどの長期休業期間中には、宅配弁当等を活用して昼食の提供を行ってはどうか。 ②「夏休みのみの利用」について、学童保育の利用者数の推移を踏まえ、今後の導入可能性について、市の見解を聞く。 ③欠席連絡等に活用できるアプリ等を導入してはどうか。 ④小学校入学後は就学前と比べて学童保育の費用負担が増えることを踏まえ、保護者の負担軽減の観点から、市として今後どのような対応を検討されているのか、見解を聞く。 (2) 小学校学童クラブの環境充実について。 ※学校や長期休業期間中の宿題でタブレットが活用されていることを踏まえ、学童においてもタブレットを使った宿題に取り組めるよう、Wi-Fiを設置してはどうか、市の見解を聞く。
		2. 本市の自転車安全対策と活用推進について。	(1) 自転車事故対策と安全啓発について。 ①本市における自転車事故の発生状況や件数を踏まえ、事故の傾向と市としての現状認識、今後の課題への取り組み等について聞く。 ②自転車の罰則規定が強化される中で、本市が行っている市民への周知方法や、児童・生徒を含む安全教育の取り組み状況について聞く。また、今後の取り組み等について聞く。 ③自転車事故の多発地点や通学路の危険箇所を地図化し、学校・警察・市民と共有して安全教育やインフラ整備に活用するための「自転車安全マップ」を作成してはどうか。 (2) 自転車活用の推進について。 ①自転車は、健康増進・環境負荷軽減・観光振興にも資する移動手段である。本市は、自転車活用をどのように考えているのか聞く。 ②大阪府は市町村に対し「自転車活用推進計画」の策定を促し、自転車通行空間や「自転車ネットワーク計画」の整備を支援しているが、努力義務として位置づけられているこの自転車活用推進計画について、本市の進捗状況等を聞く。
11	1 番 伊東 寛光 (質問方式) 一問一答	1. 本市役所の職員は何のために働いているのか。	(1) 本市のパーパス（存在意義）、ミッション（使命）、ビジョン（未来像）、バリュー（価値観・行動規範）は何か。 (2) 本市のパーパス、ミッション、ビジョン、バリューを明確化し、共有することで職員の働きがいや市民の市政への共感・参加意欲を高めてはどうか。
		2. 実施計画・予算編成・行政評価の一元管理と、透明性の高い行財政運営について。	(1) 実施計画・予算編成・行政評価の連携状況と所感について。 (2) 計画・予算・執行・決算・評価の一連の流れを、一元管理することによるメリットについて。 (3) 実施計画・予算編成・行政評価を一元管理するシステムを導入してはどうか。 ※愛媛県の事例「Build&Scrap」に言及する。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 市立保育所の認定 こども園化における 需要予測について。	(1) 現在の0歳児や市立幼稚園の在園児の保護者等へのアンケートによる需要の把握等を行わず、全ての市立保育所を認定こども園化する方針を示したが、市立認定こども園化後の在園児数について、市はどのような予測を立てているのか。また、その根拠についても示されたい。 (2) アンケートによってニーズを把握するとともに、人口動態等を加味するなど客観的な根拠のもと、認定こども園化する市立保育所を選定する方が、整備費用を抑えられ、適正な配置によって市民の納得感を得られるとともに、持続可能性も高まると考えるが、市の見解を求める。 (3) このまま市立保育所全園を認定こども園化した場合、利用者が少なく空き枠が生じる園が出る可能性がある一方、希望者が集中する園では抽選や利用調整が必要になる可能性がある。結果的に「不公平だ」という市民の不満を招くことになりかねないと思うが、このようなリスクをどのように回避するつもりなのか、市の見解を求める。 (4) 現在の0歳児や市立幼稚園の在園児の保護者等へのアンケートによる需要の把握の実施を改めて求めるが、市の見解を求める。
		4. 公共施設の統廃合 について。	(1) 需要が無くなるのを見届けてから統廃合に着手するのではなく、将来を見据え、先手を打って統廃合に取り組むべきだと思うが、市の見解を求める。 (2) 公共施設廃止後の活用については、地元との協議も大切だが、原則として速やかに除却・跡地の売却の方向で検討すべきだと思うが、市の見解を求める。 (3) 市立幼稚園、並びに市立認定こども園の統廃合について。 ①市立幼稚園については、いわゆる10人ルールを基本としつつ、先が見えている面もあるため、1年ごとに「無くなるのか、存続するのか」不安定な立場に立たせるのではなく、積極的な統廃合の方向に舵を切ってはどうか。 ②市立認定こども園は、どのような状況になれば6園から4園への統廃合を検討するのか、基準を示されたい。 ③仮称「富田林市教育・保育施設中長期ビジョン」の策定を改めて求めるが、市の見解を示されたい。
12	18番 西川 宏 (質問方式) 一問一答	1. 富田林市立幼稚園・保育所あり方基本方針【認定こども園化計画】（素案）について	(1) 富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【認定こども園化計画】（素案）の概要を聞く（特に6. 幼児教育・保育内容の充実等についてと、7. 認定こども園化の流れについて） (2) 大阪府全体及び近隣市（河内長野市、大阪狭山市、羽曳野市）の市立幼稚園の現状について (3) 認定こども園のタイプ（幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型）についての概要と、本市の今後の方針を聞く (4) 前回（令和5年5月）の富田林市立幼稚園・保育所のあり方基本方針【個別施設再配置計画】と今回（令和7年8月）の【認定こども園化計画】における説明会の参加人数及び開催状況について (5) 説明会での市民の意見や反応について、前回と今回で大きな違いはあったのか、また、今回頂いた意見を市ウェブサイト等で公開し、広く周知してはどうかと考えるが、市の見解を聞く (6) 保育所や幼稚園で勤務する職員の意見も重要であると思うが、職員向け説明会は開催しているのか。職員の意見をどのように集約し反映するのか (7) こども園化計画の策定期間及び今後の流れについて確認する

